



検査を希望するお子さんを募集します

日時：2017年 **6**月**25**日  11:00~15:30

場所：**白石市ふれあいプラザ**

(宮城県白石市字本町27)

検査対象：白石市内、近郊市町村在住4才以上~24才以下の方

(2011年の原発事故当時18才以下の子ども)

検診医：寺澤 政彦医師 (てらさわ小児科・仙台市)

定員：50名 (先着順、定員に達し次第受付終了)

費用：無料

予約方法：完全予約制。事前に下記連絡先へお申込み下さい。

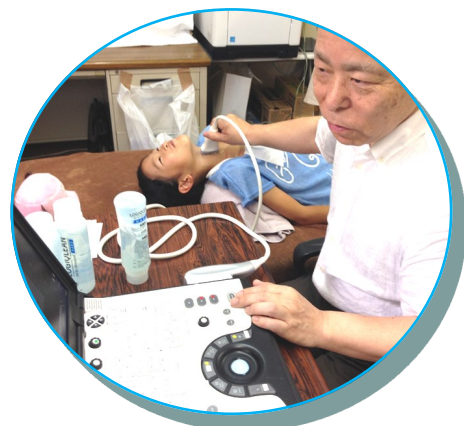
お申込み・お問合せ先

放射能問題支援対策室いずみ

Tel 022-796-5272 (平日9時~17時)

E-mail izumi@tohoku.uccj.jp

<http://tohoku.uccj.jp/izumi/>



甲状腺エコー検査の様子

検査機器：GE社製LOGIQe



甲状腺エコー検査について

2011年の東京電力福島第一原子力発電所事故により、多種多様な放射性物質がサイト外部にでてしまいました。事故直後の国の評価では放射性ヨウ素は放射性セシウムの10倍放出されたとされています。初期被ばくの主役である放射性ヨウ素の拡散については未解明のことが多く、一人一人の正確な被ばく量の評価が困難です。体内での放射線被ばくの影響は生涯に及ぶ可能性があり、とりわけ、放射性ヨウ素の影響が最も現れやすいとされる甲状腺の状態を把握・確認するための方法のひとつが甲状腺検査です。2011年10月以降、福島県内では、全県の子どもを対象に、県による甲状腺検査などが行われていますが、宮城県では公的な健康調査は行われていません。唯一、子どもを対象とした公的検査が行われている丸森町では、2015年7月から2016年4月の間に1564人の検査が行われ、1名が甲状腺がん、1名が甲状腺がんの疑いと確認されました（2016年6月2日現在）。事故由来の放射線要因と断定できるかどうかは疫学など、慎重な調査・研究を待つほかありませんが、時間がかかるようです。

私たち「いずみ」は、宮城県内においても子どもたちへの健康影響を長期的・慎重に見守る具体的な取組みが必要と考え、各地域の市民や住民の方々と協力しながら宮城県内各地で甲状腺検査を実施しています。

この度実施するのは、甲状腺に病変があるかどうか、経過観察が必要かどうかを調べる超音波（エコー）検査です。超音波検査は身体に害がなく、痛みもありません。検査にかかる時間はお一人3～4分程度ですぐに終わります。保護者の方と検査画像を一緒に見ながら、検査結果については医師が説明を行い、検査写真を含めた報告書をその場でお渡しします。

検診は無料で行い、震災当時18才以下の子ども（希望者）ならどなたでも受診できます。事前のご予約をお願いいたします。

放射能問題支援対策室いずみ



検診会場マップ

白石市ふれあいプラザ

東北本線 白石駅から徒歩七〜八分程度

無料駐車場あり